

平成29年12月8日  
 東部農林振興センター 雲南事務所 農業普及部

標 題	隣の法人に続け！！ 「美味しまね認証」取得を目指すK法人
-----	------------------------------

(ダイジェスト)

飯南町K法人は美味しまね認証取得に向けて今年から検討を開始しました。今回、理解を深めるため担当役員が、隣接するN法人の認証監査を見学し、具体的な事例を目の当たりにすることで、認証取得に必要な工程管理基準を学ぶことができました。

飯南町のK法人は水稲での美味しまね認証取得について、今年度から検討を開始し、栽培が一段落した農閑期から具体的に動き始めたところです。取得の背景としては来年度から米に対する情勢が大きく変化することと、取引先である松江市内の販売店からの強い勧めがあったからです。

このたび、12月5日に飯南町N法人が水稲で取得している美味しまね認証の監査が行われました。N法人は3年前に認証取得しましたが、それ以降も積極的に生産環境の改善に取り組み、また記帳もしっかりされており模範的な管理を行ってきました。このたびの取得を目指すK法人とは隣接した地域で普段からお互いよく顔を知っている関係です。

そこで今回のN法人監査にK法人担当役員のB氏が立ち合わせてもらい、どのような管理レベルを求められるか、改善事項や帳簿の工夫など、細かな点まで見学する形で勉強させてもらいました。

B氏は以下の点が参考になったと言われました。

- ・各帳簿に必要事項がまとめて記載してありわかりやすかった（特に農薬使用）
- ・細かな点でもルール化し掲示することで、意識統一が図られていた。
- ・役員を分散しいろいろな担当が責任を負うことで、一人任せとなっていなかった。

今後、見学内容について次回のK法人役員会で検討を行い、まずは誰が何の担当を担うか、認証審査を受けるのに不足している点はどこか、すでに要件に合致または一部修正で事足りる点はどこかを整理するとのことです。

K法人は来年度水稲収穫時までには認証取得することを最終目的としています。認証取得が目的ではなく、日々の改善の積み重ねで認証取得要件に当てはまる生産工程管理ができるようになったと言えるよう、普及部としても気づきを中心とした要件整備ができるよう支援を継続していきます。

また、既取得済のN法人W代表理事も、「自分たちに続いてK法人を始め近隣の法人と一緒に取り組むことによって、有利販売やお互いの資質向上といった相乗効果が出ると思う。自分たちが協力できる点があればこれからも応援していきたい。」と力強い言葉をいただきました。